

和痛分娩のご案内

～安心・納得・信頼でかなえる和痛分娩～

【対象となる方】 和痛分娩を希望する経産婦

【和痛分娩の方法】 硬膜外麻酔 あるいは 脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔

計画分娩（入院日程を決めて子宮収縮薬等を使用する方法）

【実施可能人数・枠】 1週間に1名 月曜日入院

【費用】 15万円（自費診療 通常の分娩費用に加えて和痛分娩の費用が必要）

【メリット】 分娩時の痛みに対する不安や恐怖を和らげる

分娩中の体力の消費を低下させる

分娩後の心身の回復を促進させる

【デメリット】 硬膜外や脊髄くも膜下の穿刺、使用する薬剤による副作用・合併症を生じる可能性がある

微弱陣痛・遷延分娩・器械分娩（吸引分娩）・分娩時および分娩後の出血量が増加する

吸引分娩に伴う合併症を生じる可能性がある

輸血・特定生物由来製品を使用する可能性が増加する

【注意点】

- ・ 実施枠が限られているため、希望されても実施できない場合があります。
 - * 申し出の早さと実施可否は関係ありません。
- ・ 既往歴・合併症・妊娠経過によっては実施できないことがあります。
 - * 一度「可能」と判断されても、経過により変更となる場合があります。
- ・ 子宮口の状況を評価しながら入院日を決めるため、希望に添った入院日程の設定はできません。
- ・ 予定の入院日より前に陣痛・破水で入院した場合、実施できない可能性があります。
- ・ 分娩の進みが早い場合、十分な痛みの軽減が得られないことがあります。
- ・ 和痛分娩を開始しても、母児の状態に応じて帝王切開となる場合があります。
- ・ 硬膜外穿刺を行った時点で費用が発生します。
 - * 帝王切開に変更となっても和痛分娩の費用は必要です。
- ・ 和痛分娩に関連する検査や診療、説明には自費の追加料金がかかります。

【和痛分娩を検討される方へ】

- ・ **妊娠 34 週 6 日までに**スタッフへお申し出ください。
- ・ **妊婦健診時に**スタッフにお問い合わせください。
- ・ 産科からの説明（木曜日午後 要予約）： 妊娠 35～36 週台 本人と配偶者あるいはパートナーへ
(帰省分娩の場合は配偶者以外も可)
- ・ 麻酔科からの説明（金曜日午前 要予約）： 妊娠 35～37 週台 本人へ